

北海道教育大学旭川校ミニオープンキャンパス2024質問一覧

北海道教育大学旭川校ミニオープンキャンパス2024にご参加いただきありがとうございます。
アンケートからいただいたご質問に回答いたします。もっと聞きたいこと、新たに質問したいこと等ありましたら、旭川校室教育支援グループ (asa-nyushi@j.hokkyodai.ac.jp) までお気軽にお問い合わせください。

質問内容	回答
社会科の中学校教員になりたいのですが先生には小学校教員から始めた方がいいって言われたのですがそれは何故ですか？	ご質問いただいたようなアドバイスは、私たちはお聞きしたことが無く、その先生のお考えによるものかと思われます。アドバイスをいただいた先生に理由を聞いてみてください。
たくさん質問させていただいたのですが、最後に学校の一番の強みを教えていただきたいです。	旭川校は他のキャンパスに比べ、中学校教員養成を主にしています。本学のホームページやパンフレットなど読んでみてください。
実験と精察について詳しく知りたいです。旭川校で受けられる教師となるために受けられる手厚いサポートの例が知りたいです。	「実践と省察」は、一年生は附属の幼稚園、小学校、中学校に訪問し、現場で働いている教員の授業を参観し、気になったところを深く考察し学びに繋がります。二年生では、旭川市内の小学校や中学校で教員の補佐をします。例えば子どもの見守りです。授業は行いません。
座談会で質問できなかったことなんですが、物理や化学など自分の専門の分野というのはどうやって決めたら良いのでしょうか。	自分が興味関心のある分野で決めています。
・寮暮らしとアパート暮らしどっちの方が多いですか？ ・サークルとアルバイトどっちもするのは難しいですか？ ・高2の冬頃から受験勉強を始めてずっとE判定なんですけど、まだ目指しても大丈夫ですか？	アパート暮らしの学生が多いと思います。サークルとアルバイトの両立は数によるとは思います。難しいと思います。 模試の判定に関するご相談については私たちからはお答えできません。保護者様や学校の先生と相談してみてください。
社会科教育ゼミではシャベッセを行うと聞いたのですが、どんな活動なのか知りたいです。坂井先生の社会科教育実践ゼミでは新聞を使った教材研究を行っているの聞いたのですが、どんな研究をされているのか知りたいです。	シャベッセは二年生の時に行います。自分たちで行う模擬授業を、現場で働いている先生方に見てもらうことができます。教材開発研究ゼミはゼミ生がそれぞれ内容を考えてゼミ内で発表を行うものです。 (新聞を使った教材開発研究をしている事例は確認できませんでしたので、申し訳ありませんが詳細をご回答することができません)
女子寮で用意しておいたらいいものはなんですか。部屋はどれくらいの大きさですか。	備え付けの家具は、布団（ベットはあります）、スリッパ、デスクのライト、ハンガー、洗剤、柔軟剤、洗濯籠です。 二人一部屋であることに加えて部屋に備付の家具が置いてあるので、部屋の広さは少し狭く感じるかもしれません。
アドミッションポリシーに書かれている「学校と地域社会との関わり」とは、どのようなことを指すのか教えていただきたいです。旭川校ならではのったり、国語教育専攻や書道分野との絡みだったり、中学校教員としてのたり、いろんな面で聞きたいです。あと、理想の教師像についていろんな方から聞きたいです。よろしくお願ひします。本日はありがとうございました。	「学校と地域社会の関わり」は「学校教育の実践と省察」の“実践”やボランティア活動などが挙げられると思います。「学校教育の実践と省察」の“実践”では、教職現場が教育をもってどのように子どもたちと地域とを結び付けた活動を行うか日々実践している実態を実習または自己探求的に学ぶ意欲を本学は方針としています。ボランティア活動では、各学校でボランティア活動ができるような仕組みがあるためそのようなところで地域と関わりを持っています。また、書道分野では毎年旭川の附属小学校で行われている「書を楽しむ会」という行事に参加しています。学校に行き、子どもたちに書道を教えたり、様子を見たりして関わりを持っています。 書道以外の国語教育専攻の学生は講義の一環で、地域内で著名な人物の資料館に出向き、人物だけでなく地域性についての理解を深める講義もあります。理想の教師像について3名の学生にお答えいただきました。 1人目は「子供たちの成長の一助になれる教師」子ども自身が自発性をもってなりたい、やりたいたいといった希望をかなえるための土台やセーフティネットをともに築くことが教師のあるべき姿だと考えています。2人目は理想の教師像についてはまだ勉強中です。「児童に寄り添う教師」「授業が分かりやすい教師」「水ら行動しようとする主体背のある教師」「自分の成長のために日々学び続けようと努力している教師」かなと思っています。3人目は「子どもたちのアイデンティティを尊重する教師」です。子供たちの多様な考えを尊重し、親身になって寄り添うことで子どもたちの成長を手助けができると考えているからです。また、「自分の知識に頼りすぎず、みずら新しい知識をアップデートしていく教師」を目指しています。 このように答えてくれましたが、あくまで理想なので正解はないと思います。ご参加いただきありがとうございました。
秋田県から進学したいと思っているのですが、自分の出身校へ行って教育実習を受けることは可能ですか？(出身校が教育実習の受け入れをしている場合)	誠に申し訳ありませんが、北海道外での教育実習は実施しておりません。教育実習においては、実習生が行う授業を指導教員が参観し、指導内容をフォローする体制としておりますが、北海道外ではそのような対応が難しいためです。そのため、秋田県から進学された場合は、原則として旭川市内の学校で教育実習に参加していただくこととなります。